

医科学（Ⅱ）

責任者・コーディネーター		口腔医学講座（関連医学分野） 千葉 俊美 教授		
担当講座（分野）		口腔医学講座（関連医学分野） 口腔顎顔面再建学講座（歯科放射線学分野） 医学部各講座		
対象学年	5	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義/演習	実習
期間	前期		前期 58.0時間 後期 —	— —

学修方針（講義概要等）

5年次で歯科医師が必要とする医学的知識の習得を目的とし、医科学Ⅰから継続しさらなる専門分野の知識を得ることにより、歯科診療上重要な疾患の病因・病態と診断・治療について学修する。

教育成果（アウトカム）

高齢化社会となり、生活習慣病などの増加により動脈硬化性疾患や糖尿病などが増加して疾病構造に変化がみられる。また医科診療では高度先進医療や新しい治療法（薬物療法や非薬物療法）が導入されている。主要内科疾患の病態生理、最新の治療法やガイドラインの基本的知識、内科救急対応の基本的知識を習得することで、このような高齢化社会に対応できる歯科医師が養成される。また、心臓血管外科、頸動脈内膜剥離術、肝臓移植など外科系手術の概要と腎臓透析、骨粗しょう症など、口腔医学の観点から歯科診療上重要な疾患の病因・病態と診断・治療を学び、災害時の医療や個人認識、EBMとガイドラインやクリティカルパスなど最新の情報についても理解することで、口腔と全身の関わりを理解するとともに全人的医療の一環としての歯科医療人が育成される。

（関連するディプロマポリシー：3、4、6、8、9）

到達目標（SB0s）

循環器疾患、消化器・肝胆膵疾患および外科治療、脳神経疾患・脳血管障害、救急医療、臓器移植、頭頸部疾患、アレルギー疾患、糖尿病・内分泌・代謝疾患、PET診療、整形外科疾患、自己免疫疾患、血液疾患、心身医学、耳鼻咽喉科疾患、腎疾患、超高磁場MRIの現状と臨床応用について理解し説明できる。

事前事後学修の具体的内容及び時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前事後学修の時間は平均75分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

（事前学修：平均30分を要する 事後学修：平均45分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時 限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	4/15 (火)	3	千葉俊美教授 (口腔 医学講座 関連医学分 野)	1. 上部消化器良性・悪 性疾患と最近話題の消 化器疾患 口腔 (歯科) 診療を行 う上で必要な消化器疾 患について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 胃酸・消化の機能 2. 消化性潰瘍の発生機序と鎮痛・消 炎薬 3. ピロリ菌感染症 4. 消化管憩室 5. 機能性消化管疾患 6. 食道癌の危険因子、疫学、検査、 治療 7. 胃癌の危険因子、疫学、検査、治 療 [D-2-3] (口腔医学キーワード) 胃酸分泌機構、消化性潰瘍、消化性 潰瘍の発生機序、ピロリ菌感染症、 アラキドンサンカスケード、憩室 症、機能性ディスペプシア、過敏性 腸症候群、 慢性便秘症、腸内細菌、食道癌、胃 癌 [事前学修]講義内容を確認し、教科 書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用 いて知識を整理しておくこと。所用 時間は45分程度。
講義	4/15 (火)	4	板橋亮教授 (内科学 講座 脳神経内科・老 年科分野)	2. 脳血管障害 口腔 (歯科) 診療を行 う上で必要な脳血管の 病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 脳卒中の定義と種類 2. 脳血管の解剖と神経症候 3. 脳卒中の治療と予防 [D-2-3] (口腔医学キーワード) 脳血管障害 (脳梗塞、脳出血)、巣 症状 [事前学修]講義内容を確認し、教科 書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用 いて知識を整理しておくこと。所用 時間は45分程度。

講義	4/22 (火)	3	前田哲也教授（内科学講座 脳神経内科・老年科分野）	3. 神経変性疾患、その他の神経疾患 口腔（歯科）診療を行う上で必要な脳神経系の病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. Parkinson病と類縁疾患、認知症疾患 2. その他の代表的神経疾患 [E-6-②] （口腔医学キーワード） Alzheimer病と認知症疾患、Parkinson病と類縁疾患、神経感染症、脱髄性疾患、末梢神経疾患、筋疾患 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	4/22 (火)	4	中居賢司客員教授	4. 循環器疾患診療の進歩と歯科医療での課題 口腔（歯科）診療を行う上で必要な循環器疾患診療の進歩～主要症候と病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 口腔（歯科）診療に必要な循環器疾患診療の進歩 2. 歯科治療中の主な不整脈発作の心電図上の特徴 3. 心房細動での抗凝固療法について 4. ペースメーカー、植込み型除細動器の意義 5. 大動脈弁狭窄症での歯科治療 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 期外収縮、心房細動、心室頻拍、心室細動、房室ブロック、心臓ペースメーカー、埋込み型除細動器（ICD）、抗凝固療法大動脈弁狭窄症 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	5/13 (火)	3	井上義博名誉教授 (救急・災害医学講座)	5. 救急医療 口腔（歯科）診療を行う上で必要な救急医療の主要症候と病態等を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 岩手医科大学の救急医療システム 2. 救急医療の現状と対応 3. 頭頸部外傷の現状と対応 4. ドクターヘリの現状 5. トリアージ [D-2-3] （口腔医学キーワード） 救急医療、救急医療システム、頭頸部外傷、交通外傷、ドクターヘリ、トリアージ [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	5/13 (火)	4	高橋智弘講師 (総合診療医学講座)	6. 内科救急 口腔（歯科）診療を行う上で必要な内科救急の主要症候と病態の理解と対処法を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 一次救命処置（BLS）：心肺蘇生+AED 2. 意識障害患者と窒息患者への初期対応 3. 二次救命処置（ALS） 4. 心停止の鑑別診断 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 気道確保、胸骨圧迫、人工呼吸、心室細動、AED [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	5/20 (火)	3	内海裕助教（内科学講座 呼吸器内科分野）	7. アレルギー疾患へのアプローチ 口腔（歯科）診療を行う上で必要なアレルギー疾患の主要症候と病態、緊急の対応法を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. アレルギーの分類、機序と代表的疾患 2. 気管支喘息の病態 3. アナフィラキシーショックの病態 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 気管支喘息、アナフィラキシーショック、薬物アレルギー [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	5/20 (火)	4	中里龍彦非常勤講師	8. 頭頸部の画像診断と治療への応用 口腔（歯科）診療を行う上で頭頸部腫瘍の画像診断により病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 口腔と周辺臓器の画像解剖 2. 頭頸部腫瘍の画像所見 3. 悪性腫瘍の病期分類 4. 頭頸部領域のInterventional Radiology (IVR) [D-2-3] （口腔医学キーワード） 画像解剖、腫瘍の画像診断、病期分類、IVR [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	5/27 (火)	3	佐々木章教授（外科学講座）	9. 消化器疾患と外科治療 口腔（歯科）診療を行う上で必要な消化器疾患と外科治療について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 消化器疾患の主要な病態と症候 2. クリニカルパス 3. 内視鏡外科手術 4. 全身管理に注意すべき消化器疾患 5. 高齢者歯科診療で注意すべき消化器疾患 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 消化器疾患、貧血、黄疸、術前管理、術中管理、術後管理 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	5/27 (火)	4	片桐克則准教授（耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座）	10. 咽喉頭解剖生理と疾患 口腔（歯科）診療を行う上で必要な咽喉頭解剖生理と疾患を理解する	以下の項目について説明ができる。 1. 咽喉頭の解剖と生理 2. 嚥下のメカニズム 3. 反回神経麻痺の原因と症状 4. 咽喉頭の疾患の症状と治療 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 咽喉頭、嚥下のメカニズム、反回神経麻痺、咽喉頭の疾患 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	6/2 (月) 17:15 ～ 18:45	5	山部大輔助教（整形外科科学講座） 11. 整形外科科学総論 - 骨粗しょう症 口腔（歯科）診療を行う上で必要な整形外科科学の意義を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 整形外科科学的疾患の主要徴候と病態の概要 2. 骨粗しょう症と治療（ビスフォスフォネート） 3. 頸椎症性脊髄・神経根症と治療 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 整形外科科学的疾患、骨粗しょう症、ビスフォスフォネート、顎骨壊死、頸椎症、脊髄症、神経根症、ロコモティブシンドロームと腰痛疾患 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	6/3 (火)	3	田中良一教授（口腔顎顔面再建学講座 歯科放射線分野） 12. PET診療の基礎知識 がん診療におけるPETの役割と限界を理解する。	PETの以下の項目について説明ができる。 1. 画像化の原理 2. 偽陽性と偽陰性 3. 検査の前処置 4. 医療従事者の放射線防護 5. 検査の適用 [D-2-3] （口腔医学キーワード） ポジトロンエミッショントモグラフィ (PET)、悪性腫瘍、炎症、放射線防護、適用 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	6/3 (火)	4	八重樫瑞典講師（外科学講座） 13. 下部消化管疾患と外科治療 口腔（歯科）診療を行う上で必要な下部消化管疾患と外科治療について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 大腸の解剖、機能 2. 大腸癌の危険因子、疫学、検査、治療 3. 大腸ポリープ・ポリポーシス [D-2-3] （口腔医学キーワード） 大腸癌、Peutz-Jeghers症候群、Gardner症候群 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	6/10 (火)	4	千葉俊美教授（口腔医学講座 関連医学分野）	14. 胆・膵疾患 口腔（歯科）診療を行う上で必要な胆・膵疾患の主要症候と病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 胆道疾患の主要な症候、病態 2. 膵疾患の主要な症候、病態 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 胆嚢結石症、総胆管結石、急性胆嚢炎、急性胆管炎、胆嚢癌、胆管癌、急性膵炎、慢性膵炎、膵癌 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	6/12 (木) 17:15 ～ 18:45	5	大竹伸平助教（整形外科外科学講座）	15. 関節リウマチと外科治療 口腔（歯科）診療を行う上で必要な関節リウマチの病態と外科治療を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 関節炎の概要 2. 関節リウマチの概要と治療 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 関節炎、関節リウマチ、脊髄障害、開口障害、嚥下障害 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	6/17 (火)	3	佐々木了政助教（内科学講座 血液腫瘍内科分野）	16. 血液疾患と造血幹細胞移植 口腔（歯科）診療を行う上で必要な血液疾患の病態と造血幹細胞移植を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 血液細胞の基本的な機能 2. 白血病の主要な症候、病態と歯科治療上の留意点 3. 造血幹細胞移植 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 白血病、急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、悪性リンパ腫、造血幹細胞移植 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	6/17 (火)	4	田中良一教授（口腔顎顔面再建学講座 歯科放射線学分野）	17. 救急の画像診断 口腔（歯科）診療を行う上で必要な救急あるいは併存症の画像診断について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. アレルギーにより生じる画像所見 2. 誤嚥・誤飲による画像所見 3. 併存症の急変時画像所見 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 肺水腫、ARDS、誤嚥性肺炎、異物誤飲、気胸、縦隔気腫、急性大血管疾患 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	6/24 (火)	4	山崎知子非常勤講師	18. がんの総論 がん治療と口腔管理 口腔（歯科）診療を行う上で必要ながんの総論、がん治療と口腔管理について理解する 頭頸部癌疾患について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. がん総論 2. がん治療と口腔管理 3. 頭頸部癌疾患 [D-2-3] （口腔医学キーワード） がん総論、頭頸部疾患 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	7/1 (火)	4	佐々木章教授（外科学講座）	19. 内分泌・代謝疾患と外科治療 口腔（歯科）診療を行う上で必要な内分泌・代謝疾患の病態、周術期管理と治療について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 甲状腺・副甲状腺の解剖と生理 2. 膵臓の解剖と生理 3. 副腎の解剖と生理 4. 肥満症の病態 5. 口腔症状を呈する内分泌・代謝疾患 6. 甲状腺機能亢進症の周術期管理と治療 7. 肥満症の周術期管理と治療 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 体重減少、体重増加、頻脈、徐脈、血圧上昇、下痢、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、副甲状腺機能亢進症、Cushing病、アルドステロン症、糖尿病 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	7/8 (火)	3	赤松洋祐教授（脳神経外科学講座） 20. 脳血管障害の病態と外科治療および意識障害（脳死） 口腔（歯科）診療を行う上で必要な脳血管障害の病態と外科治療および意識障害（脳死）について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 脳卒中の病態（脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞） 2. 脳血管障害の外科治療（脳動脈瘤、頸動脈硬化症、内膜剥離術） 3. 意識障害の機構 4. 脳死の判定 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 脳卒中、脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞、心原性脳塞栓症、凝固線溶、抗凝固薬、抗血小板薬、脳動脈瘤、脳動脈瘤クリップ、頸動脈硬化症、内膜剥離術、遷延性植物状態、脳死 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	7/8 (火)	4	桂彩助教（耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座） 21. 鼻・副鼻腔解剖生理と疾患 口腔（歯科）診療を行う上で必要な鼻・副鼻腔の解剖生理と疾患を理解する	以下の項目について説明ができる。 1. 鼻・副鼻腔の解剖と生理 2. 鼻・副鼻腔の疾患の症状と治療 3. 食道異物、気管支異物に対する検査・治療 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 鼻・副鼻腔の疾患 食道異物、気管支異物 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	7/15 (火)	3	旭浩一教授（内科学講座 腎・高血圧内科分野） 22. 腎疾患 口腔（歯科）診療を行う上で必要な腎疾患の主要症候と病態，検査，治療を理解する。	以下の項目について歯科診療との関連を説明できる。 1. 腎疾患の主要症候と腎機能検査 2. 腎・尿路系の主要な症候、病態、治療（ステロイドを含む） [D-2-3] （口腔医学キーワード） 蛋白尿、血尿、脱水、浮腫、糸球体濾過値(GFR)、クレアチニンクリアランス(Ccr)、糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、慢性腎臓病、急性腎障害、ステロイド療法、透析 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	7/15 (火)	4	柿坂啓介准教授（内科学講座 消化器内科分野） 23. 肝疾患 口腔（歯科）診療を行う上で必要な肝、胆、膵疾患について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 肝臓、胆嚢、膵臓の構造、機能、病態 2. 肝機能・肝障害の評価方法 3. 慢性肝疾患の主要な症候、病態 4. 肝硬変の病態 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 肝機能、肝障害 ウイルス肝炎（B型およびC型肝炎ウイルス）、非アルコール性脂肪肝、肝硬変、肝癌 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	7/22 (火)	3	池田怜吉准教授（耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座） 24. 聴覚・平衡解剖生理 口腔（歯科）診療を行う上で必要な聴覚・平衡解剖生理の意義を理解する	以下の項目について説明ができる。 1. 側頭骨解剖 2. 伝音機構 3. 内耳の聴覚・平衡生理 4. 聴覚検査 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 側頭骨解剖、伝音機構、内耳、平衡生理、聴覚検査、難聴 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	7/22 (火)	4	川田一郎教授（内科学講座呼吸器内科分野） 25. 肺癌 口腔（歯科）診療を行う上で必要な肺癌の主要症候と病態，治療を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 肺癌の病態、症状、検査所見、治療 2. 肺癌治療と口腔管理 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 肺癌 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	7/24 (木) 17:15 ～ 18:45	5	菊池哲非常勤講師	26. 救急医療－腹部救急疾患と主要徴候 口腔（歯科）診療を行う上で必要な腹部救急、急性腹症、消化器救急について理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 急性腹症の兆候 2. 異物誤飲（義歯等） 3. 鎮痛剤と消化管出血 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 救急性腹症、腹膜刺激症状、筋性防御、板状硬、打診痛、反跳痛、消化管異物、NSAIDs潰瘍、アラキドン酸カスケード [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	7/25 (金) 17:15 ～ 18:45	5	鈴木順非常勤講師	27. 心身医学総論 口腔（歯科）診療を行う上で必要な心身医学的疾患の主要症候と病態を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 心身症の定義 2. bio-psycho-social medical model 3. 主要な歯科心身症の疾患名、症候、対応 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 心身症・心身医学 口臭症、舌痛症、顎関節症、口腔異常感症、味覚異常、歯科恐怖症 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	7/29 (火)	3	梅邑晃准教授(外科学講座)	28. 臓器移植 口腔（歯科）診療を行う上で必要な臓器移植について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 臓器移植の歴史 2. 臓器移植法 3. 拒絶反応 4. 移植片対宿主病 5. 肝臓移植 6. 肝臓移植例での歯科治療 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 移植、免疫抑制剤、肝硬変、黄疸、意識障害 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	7/29 (火)	4	小笠原邦昭学長	29. 特別講演 本邦の医療レベルの客観的評価、医療の現状、岩手医科大学の医療の考え方、岩手県の医療の現状、医療者の倫理観、学生の目標と手段の違い	以下の項目について説明できる。 1. 本邦の医療レベルの客観的評価 2. 本邦の医療の現状 3. 岩手医科大学の医療の考え方 4. 岩手県の医療の現状 5. 医療者の倫理観 6. 学生の目標と手段の違い (特別講演キーワード) 日本国民の満足度、医療レベル、地域医療、チーム医療、先進医療、医療人たる前に誠の人間たれ、社会常識、目標と手段
----	-------------	---	---------	---	---

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	(歯科内科) 歯科医師のための内科学	千葉俊美、山田浩之 編	医歯薬出版	2021年
参	(歯科内科) Internal Medicine for Dental Treatments	Toshimi Chiba, Hiroyuki Yamada, Editors	Springer	2024年
参	(歯科内科) 内科学 12版	矢崎義雄 総編集	朝倉書店	2022年
参	(歯科内科) 今日の治療薬：解説と便覧 2023年版	浦部晶夫ほか 編	南江堂	2023年
参	(外科学) 標準外科学 17版	田邊 稔 監修、池田 徳彦、大木隆生、猪股 雅史、篠原 尚 編集	医学書院	2025年
参	(皮膚科学) 歯科医のための皮膚科学 2版	山崎雙次ほか 編	医歯薬出版	2004年
参	(整形外科) 標準整形外科 14版	松野丈夫、中村利孝 総編集	医学書院	2020年
参	(耳鼻咽喉科学) 標準耳鼻咽喉科・頭頸部外 科学 4版	鈴木淳一、中井義明、 平野実 著	医学書院	2022年
参	5分でできる明るい歯科心 身医学	豊福 明、吉川達也、他	永末書店	2017年

成績評価方法・基準・配点割合等

定期試験で評価する（100%）
*各講義数に応じた問題数による試験を実施する

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等）

特記事項なし

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有（大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う）

授業に使用する機械・器具と使用目的…特記すべき機械・器具等はありません。

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的